

雪まるかじりツアー

～本格かまくら作り編～

2013年1月4日(金) ～ 1月6日(日)

IN 兎野高原野外教育センター

	午前	午後	夜
1日目	施設に向け出発	雪遊び、土台作り	キャンドル作り
2日目	かまくら作り	かまくら作り	七輪ファイア
3日目	かまくら解体・ソリすべり	施設を出発・解散	

一日目：参加者の中には、まだ今まで積もるほどの雪を見たことのない方もたくさんおられ、「雪いっぱいあるかなあ」と心配する声があちらこちらから聞こえていました。施設に到着すると1メートルもの雪に、歓声が上がっていました。昼食を食堂でとった後は、ウェアに着替えていざ外へ。翌日かまくら作りをする広場は雪深いので、まずは雪を踏み固める作業から始めました。班対抗のリレーや、増え鬼ごっこをしながら、ふかふかの雪を固めていきました。中には雪に足を取られて何度も転んでしまう場面もありましたが、皆楽しそうに雪で遊んでいました。夜は、2色キャンドル作りを行いました。話し合って色を決め、ろうそくを溶かしてクレヨンで色付けし、その班ならでのキャンドルが出来上がりました。



二日目：2日目は朝からかまくら作りにとりかかりました。今回はどの班にもかまくら作り経験者が少数ずついたので、全体へのかまくら作りのための説明は安全を考慮しての必要最低限に済ませ、各班でどうやって作っていくかを考えながら進めました。最初のうちは、経験者が主となって作り進めていましたが、途中から要領がわかってくると、他の方も「ここはもっとこうしたほうがいいのでは？」と意見を出し合いながら進めていました。今年の冬は比較的雪が少なかったため、大きなかまくらを作るのは難しかったようですが、どの班も1～2人が入れる程の大きさのかまくらが出来上がりました。各班、交代でかまくらに潜り楽しんでいました。夜は作ったかまくらで七輪を使ってマッシュマロを焼いて食べました。作ったキャンドルを思い思いの場所に灯し、満天の星空を眺めながらかまくら作りの苦労したことや楽しかったことなどを語り合う班もみられました。



三日目：お世話になった施設の清掃を終えたあと、前日作ったかまくらの片づけを行いました。一晩でカチカチに固められた雪はスコップもかなわないほどの硬さで、崩すのに苦労していましたが、少しずつコツをつかんで交代しながら協力している姿がみられました。かまくらを片付けたあとはお楽しみのソリすべり。スピードが思ったより速いと感じる方も多かったようで、「速くて怖かった！」といいながらも何度も挑戦して楽しんでいました。昼食を終えたあとは記念撮影をし、バスにのって帰りました。



<キャンプ総括>

今回は昨年度に引き続き二回目のかまくらづくりキャンプを企画させていただきました。今回のかまくら作りの特徴は、なんといっても“自分たちで考えてかまくらを作る”ことにあったのではないかと思います。かまくら作りはどうしても、単調な作業の繰り返しで成り立ちます。大半の参加者はかまくら作りをした経験がなく、なかにはかまくらを見たことさえ無い方もいた中で、こちらから1から10までを説明するのではなく、“かまくらってどうやって作ったらいいのだろう”と考えを巡らせ、班で協力して話しあうことで、一人ひとりが受身ではなく自主的に動いている様子をたくさん見ることができました。また、高学年と低学年で作業を分担したり、交代したりすることで、誰もが無理なく楽しくかまくらを作ることでできるような工夫を子どもなりに考えていました。このキャンプを通して、自分で物事を考え、実行することを経験したことを、これからの学校生活などで役立ててほしいと感じます。

(岡田 早百合)